



一般国道 30 号（E30 瀬戸中央自動車道）における スマートインターチェンジの名称決定と開通見通しについて

香川県坂出市と本州四国連絡高速道路株式会社（以下、本四高速）が整備を進めてきた、一般国道 30 号（E30 瀬戸中央自動車道）に接続するスマートインターチェンジの名称を決定しました。

また、現在の工事進捗を踏まえ、当スマートインターチェンジの開通見通しをお知らせします。

E30 瀬戸中央自動車道の坂出北インターチェンジは、本州方面の入口、出口のみとなっておりますが、四国横断自動車道へのアクセス性を向上させるため、平成 29 年度に（仮称）坂出北スマートインターチェンジが事業化され、現在、四国方面の入口、出口の整備を進めているところです。（別紙参照）

1. 名 称

（仮称）坂出北スマートインターチェンジは、現名称の認知度が高いことや名称変更による利用者の混乱を招く恐れがあることを踏まえ、正式に「**坂出北インターチェンジ**」という名称に決定しました。（別紙参照）

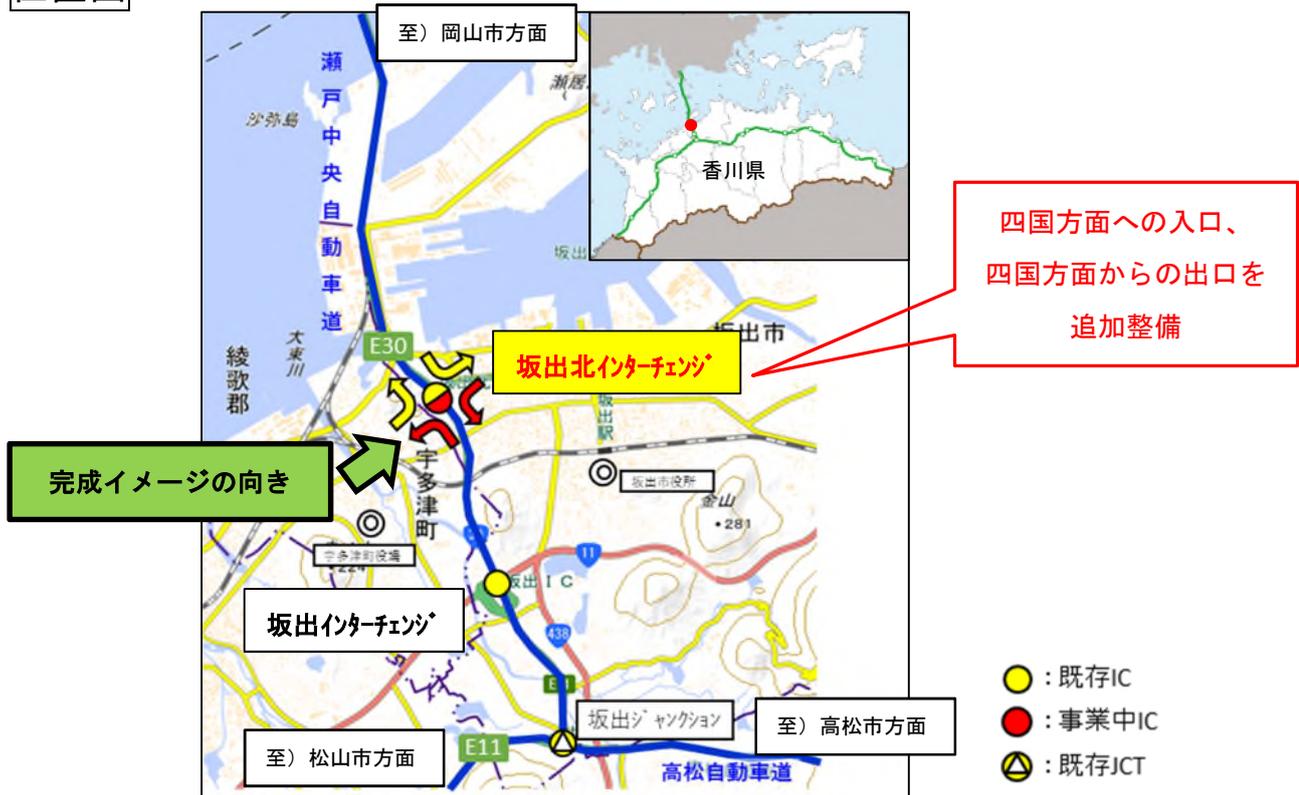
2. 開通見通し

現在の工事進捗を踏まえ、四国方面の入口、出口を**令和 7 年度内に開通**できる見通しとなりました。

なお、「坂出北インターチェンジ四国方面の入口、出口の整備により期待される効果」については、別添をご参照ください。

問い合わせ先	坂出市（事業全般及び名称決定に関すること） 建設経済部 都市整備課 Tel. 0877-44-5017（直通）土日及び祝日を除く 8 時 30 分～17 時 15 分 本州四国連絡高速道路株式会社（開通見通しに関すること） お客さま窓口 Tel. 078-291-1033 土日及び祝日を除く 9 時 00 分～17 時 30 分
--------	--

位置図



出典：国土地理院ウェブサイト

坂出北インターチェンジ 完成イメージ



出典：本四高速

名称決定

名称の決定に当たっては、坂出市などで構成される「(仮称)坂出北スマートインターチェンジ地区協議会」で検討を行い、香川県内の道路管理者等で組織する道路標識適正化委員会の意見を踏まえ決定された名称原案をもとに、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構による所定の手続きを経て決定されました。

現インターチェンジ名称の「坂出北」が供用後 35 年を経過し認知度が高く周知が進んでいること、「坂出北」の名称を変更することにより既設の本州方面の出入口とは異なる印象を与え、一般の利用者の混乱を招く恐れがあることを踏まえ、坂出市に関する名称案を複数検討した結果、その中で分かりやすく、一般利用者の利便性等を総合評価し、最も高評価となる名称を決定したものです。

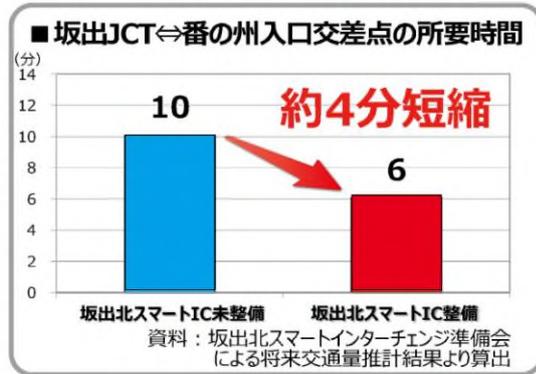
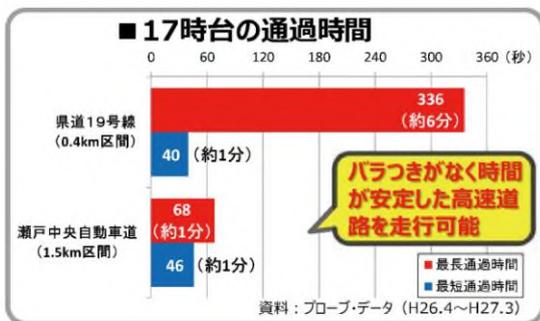
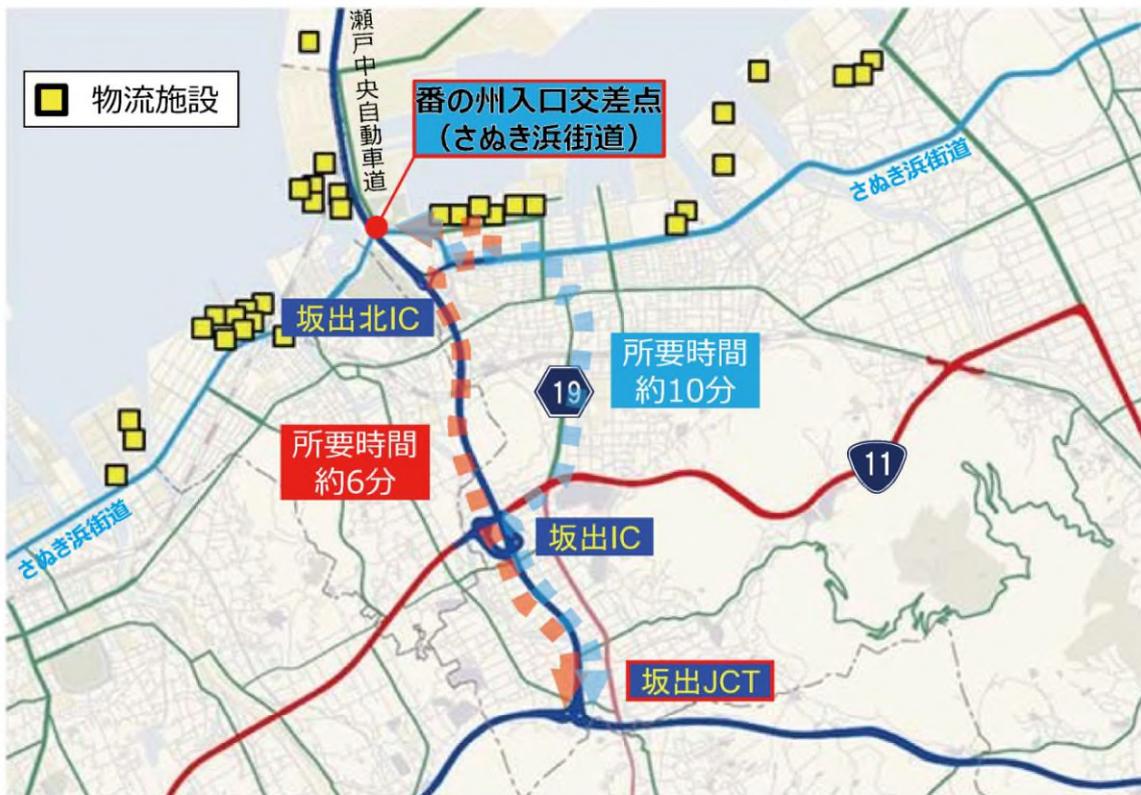
実施計画書 (H29.7) より

坂出北インターチェンジ

四国方面の入口、出口の整備により期待される効果

(1) 信頼性の高い物流ネットワークを形成

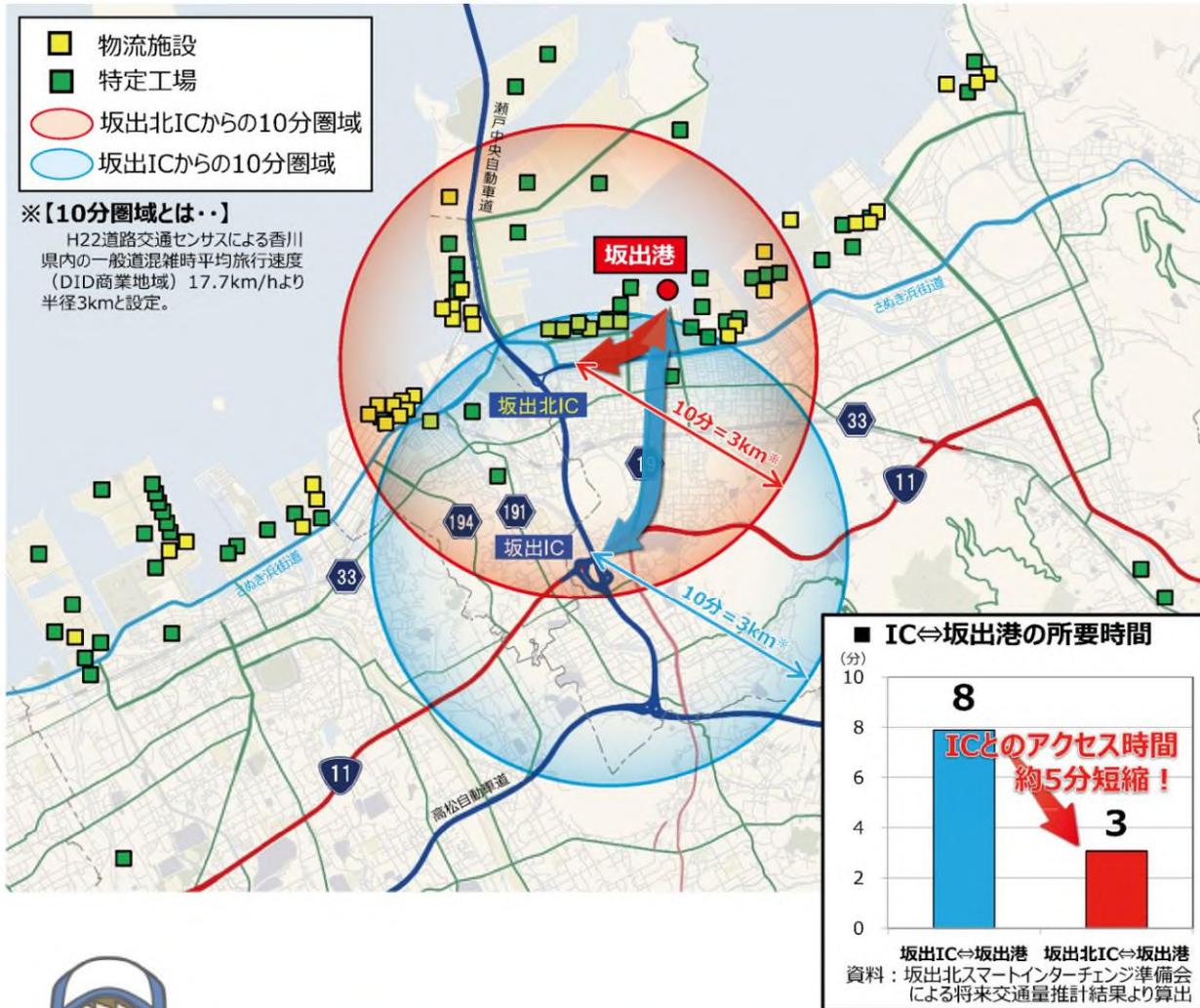
- 配送時間の短縮や時間信頼性が向上し、物流の効率化を促進



- 坂出北ICまでは5分くらいなので、スマートIC整備は有り難い。
- 危険物LPGを積んだローリーが市街地を走る心配があり、安全に運ぶことが使命である以上、坂出北ICから四国方面に乗れるのは有り難い。 (坂出市内物流企業)

(2) 「みなと」と「みち」の強い絆で企業進出

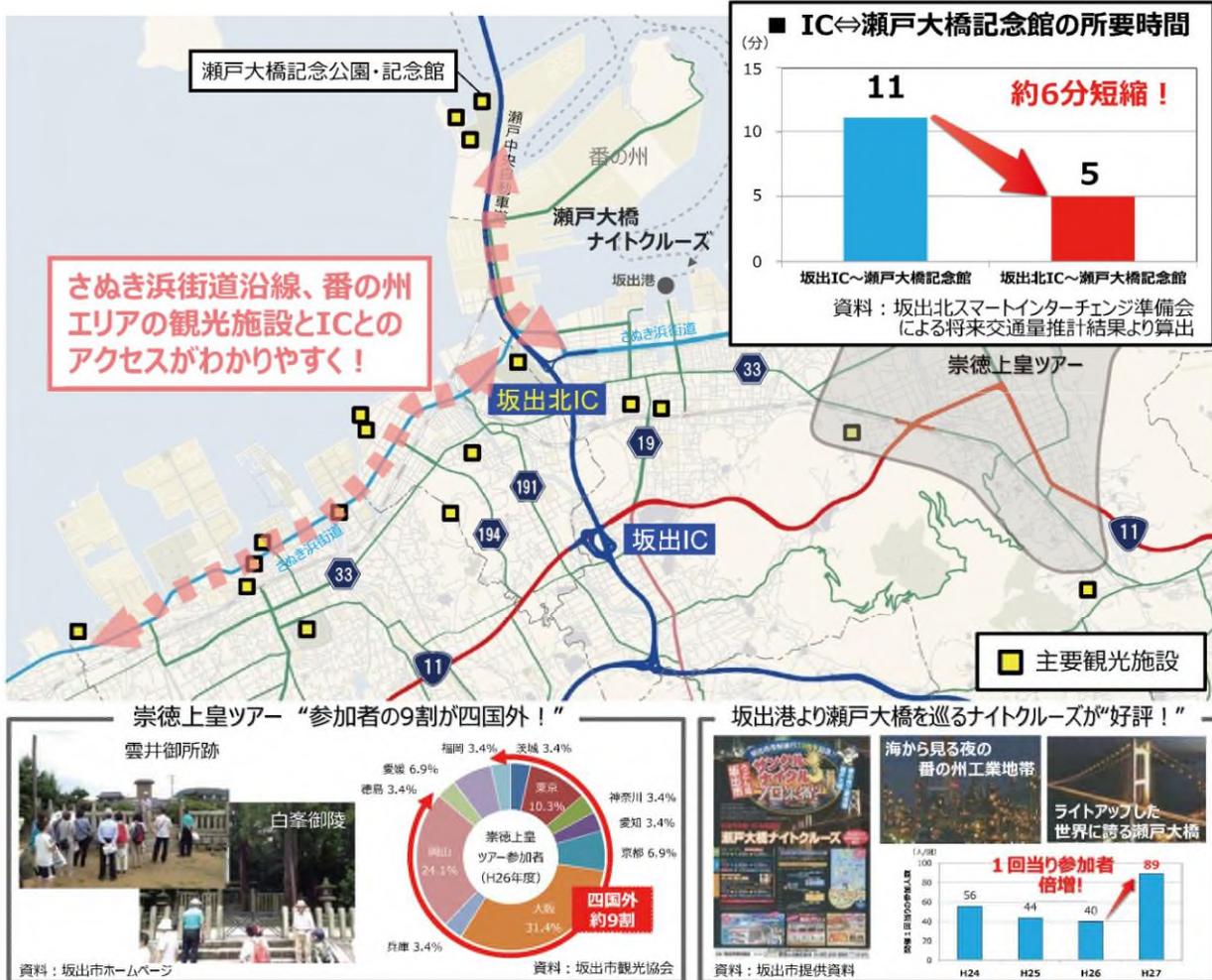
- 10分以内でICアクセス可能な企業・工場が大幅に増加し、坂出港とICとの所要時間も大幅に短縮することで、坂出港周辺の交通結節点としてのポテンシャルが向上



- **全国展開する飲食店企業は、沿道交通量をマーケティングの一指標としており、さぬき浜街道の交通量も増加すると予測し、さぬき浜街道沿線への出店も選択肢に。**
(ディベロッパー企業)

(3) 速さとわかりやすさで観光集客アップ

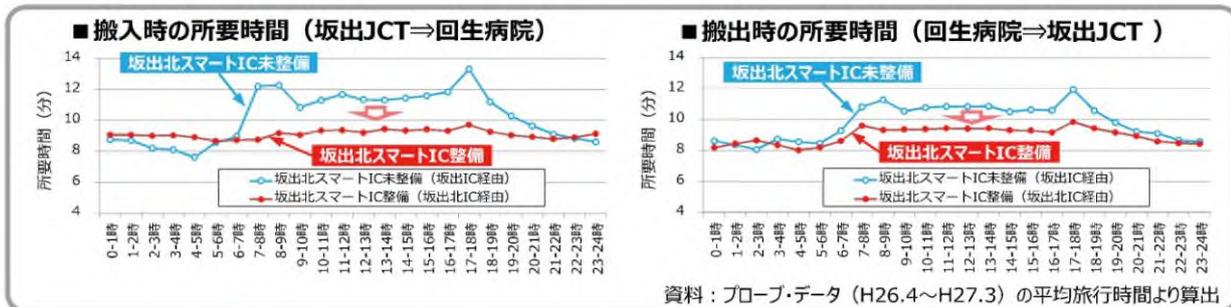
- 観光施設とのアクセス時間が短縮し、アクセスルートのもわかりやすさも向上
- 観光施設への立ち寄りが容易となり、集客が増加



- **インターチェンジからのアクセスが容易となり、瀬戸大橋記念館も観光地の一つとして利用しやすくなる。アクセスに対する問い合わせ対応も容易になる。** (瀬戸大橋記念館)
- **背後エリアに金毘羅があるので、さぬき浜街道からアクセスしてもらえるようになることは観光面で非常にメリット。** (丸亀市文化観光課)

(4) 中・西讃地域の安心なくらしを提供

- 救急搬送時間が短縮され、また、救急搬送時間のバラつきが解消し、安定した救急医療活動が可能



- 救急搬送における**所要時間の短縮は、患者の負担軽減やその後の治療の面でも非常にメリット**が大きい。特に、**心肺停止の患者**にとっては、**1分1秒でも早い方がよい**。
- **第三次救急へ搬出**する場合、坂出北ICから行けるようになると**非常に有難い**。
(坂出市内二次医療機関)

(5) 地域を担うこどもにとって安全なまちに

- 学校周辺の通過交通等が減少し、通学時の安全性が向上

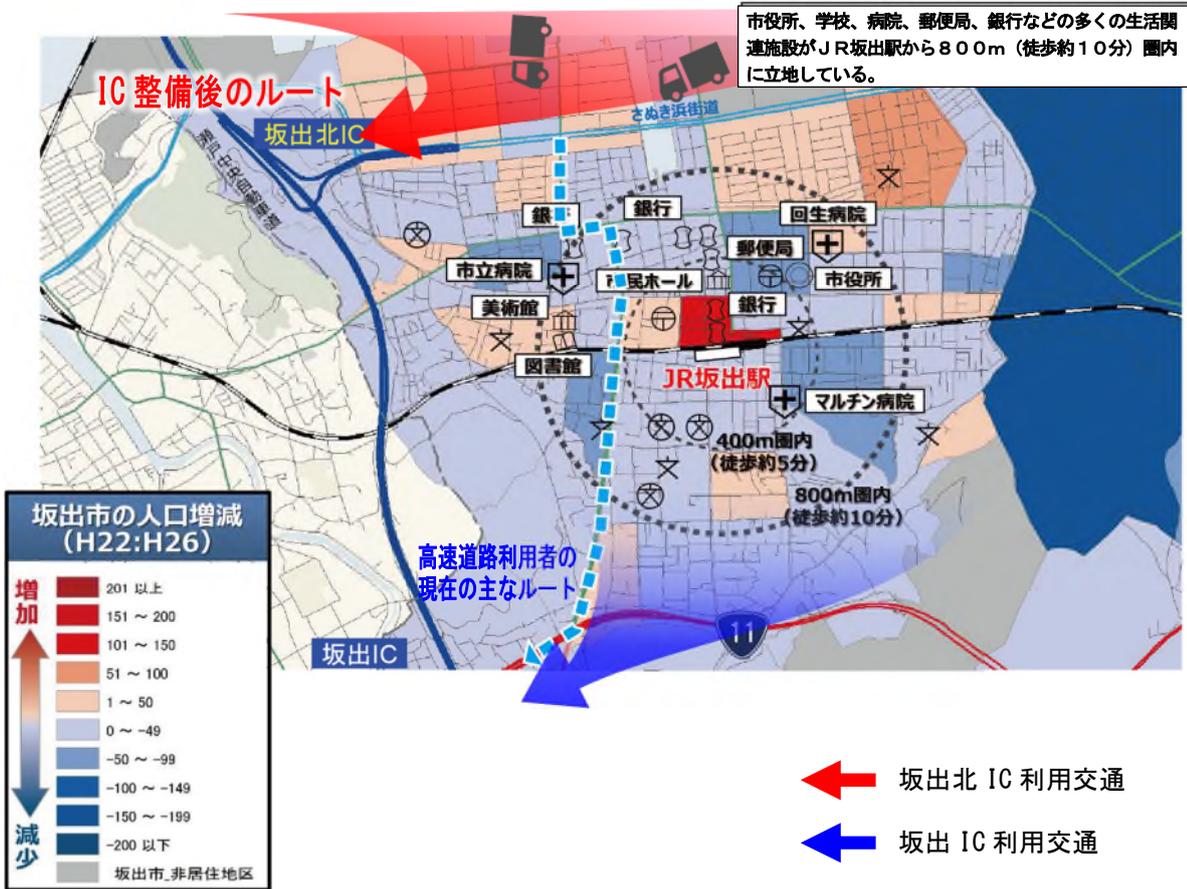


- さぬき浜街道と坂出ICを連絡している県道19号線、県道33号線、県道191号線などの**通学時の安全性が高まることを期待**している。

(坂出小学校、宇多津小学校、宇多津中学校)

(6) コンパクト+ネットワークで住みやすいまちへ

- 多くの生活関連施設が集積する中心市街地を通過する交通が減少し、安全安心の向上とともに、定住化やコンパクトなまちづくりを促進



● 地域で価値を高める施策を考え、坂出市のイメージを向上するための「きっかけ」にしたい。

(坂出商工会議所)

(7) 四国にとって大規模災害時の重要拠点に

- 高速道路が南北軸として機能し、災害時は、坂出港から四国島内への早期の支援物資供給が可能

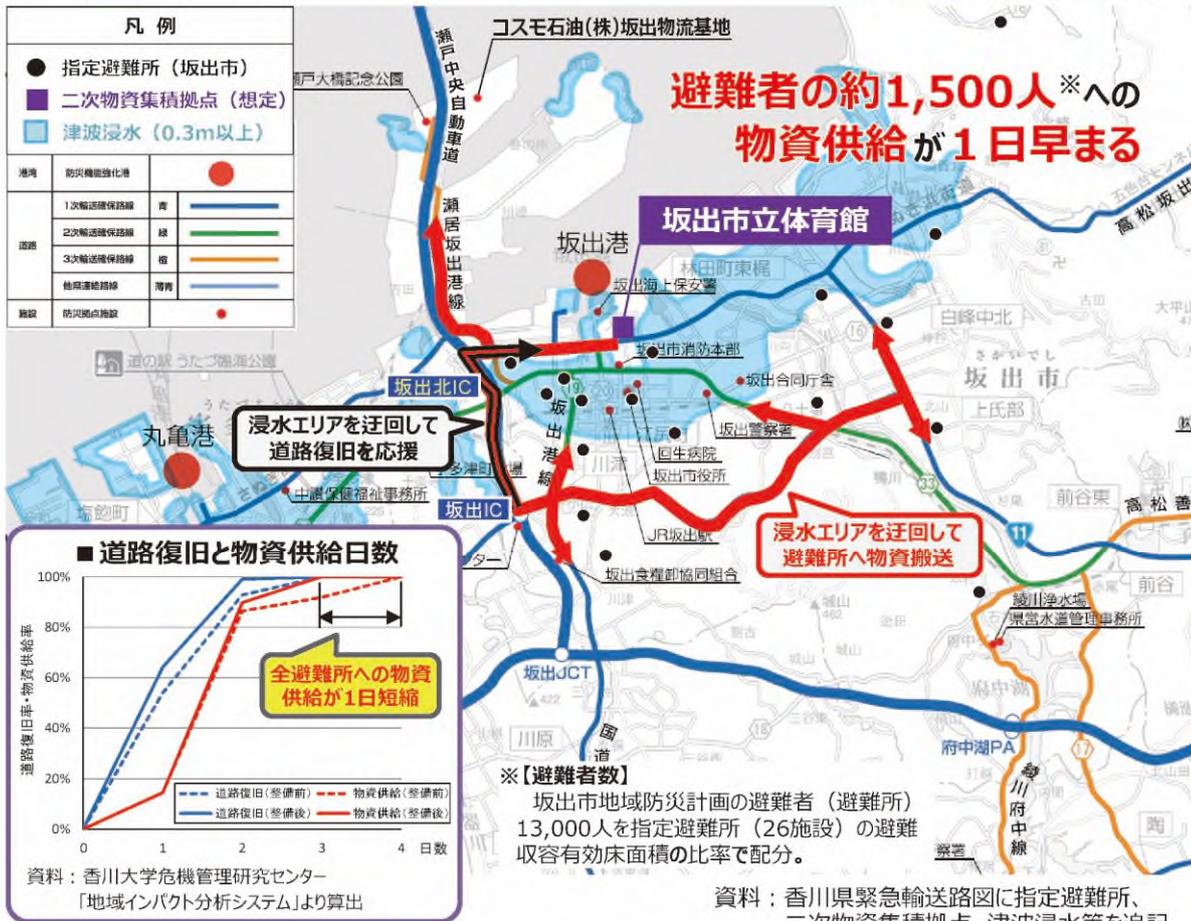


- **坂出港から高速道路(坂出北IC)へアクセスし易くなり、四国方面への早期の物資供給が可能となる。**
- **現在、コスモ石油(株)坂出物流基地は精製を行っていないが製品を備蓄しており、ローリーがあれば燃料供給が可能のため、「燃料」の拠点にもなり得る。**
(坂出市危機監理室)

(8) 災害時にも早期復旧で安心なまちに

- 瀬戸中央自動車道が迂回路となって効率的な道路復旧を助け、避難所への早期の物資供給が可能

坂出市立体育館を二次物資集積拠点とした場合の物資供給



- 企業のBCPの観点からも**早期復旧が可能となることは非常に重要**で、企業の存続は**地域の雇用や市の財政にも大きく影響**する。

(坂出市危機監理室)